今日から始めよう!

愛犬のための

グッドエイジングライフ

Good aging life

「エイジング」と聞くと、
「シニア」や「老後」を
イメージするかもしれませんが
その意味は「年齢を重ねること」。
エイジングは生まれたときからすでに始まっています。
どんな犬も老いることは避けられません。
けれども、健康的に年齢を重ね、
老いても愛犬らしく、穏やかに日々を
過ごすことは不可能ではありません。
“まだ若いから”“もう年だから”ではなく、
今からちょっとしたケアを加えることで、将来が変わることも！
そんな「グッド・エイジング・ライフ」を
今日から始めてみませんか？

まずは知ろう

グッド・エイジングのために

あなたの愛犬のこと

犬は種類によって、その特徴や性格が大きく異なります。
それぞれの生活環境を踏まえたうえで愛犬の特質を知り、
必要なケアを考えることが「グッド・エイジング」につながります。

どんな環境が暮らしやすい？

犬種や体格によって適した生活環境はさまざまです。安心して過ごせるスペースを確保し、好む接し方など、ストレスが少ない過ごし方を愛犬目線で考えてみましょう。

どんな食事や運動（量や種類）が適切？

犬種や年齢・持病などによって、常に同じ食事や運動がいいわけではありません。愛犬の“今”の状態から最適な食事の種類や与え方、運動の頻度や種類を考えることが大切です。

かかりやすい病気は？

遺伝と考えられる病気や、犬種的にかかりやすい病気が少しずつ解明されています。愛犬の特徴や現在の年齢から、注意すべき病気や症状を把握しておきましょう。

\ point /

愛犬の「いつも」を知っておこう

犬種や生活環境によって傾向はあるものの、愛犬のオリジナリティこそが重要です。普段からよく観察し、愛犬ならではの「いつも」の状態を知っておきましょう。また、インターネットや飼育本などの一般的な情報が愛犬にあてはまらない場合も。気になることはかかりつけ医に相談しましょう。

かかりつけ医を見つけておこう

愛犬の健康状態を把握し続けてくれる、かかりつけの動物病院を探しておきましょう。病気になったときだけではなく、些細なことでも気軽に相談できることが、病気の予防や早期発見につながります。

point

若いうちに見つけよう

愛犬が若いうちから同じ病院に通い続けることで、通院のたびに体重や検査結果などのデータが蓄積されていきます。獣医師が愛犬ならではの傾向を把握できるうえ、データを比較できるので病気の早期発見に役立ちます。

"かからなくてすむ"病気は予防しよう

Attention

飼い主さん次第で防げます！

犬がかかりやすいノミ・ダニ・フィラリアなどの寄生虫は、動物病院から処方される薬で安全・確実に予防することができます。薬の種類や投薬の仕方・頻度など、かかりつけ医に相談しましょう。

しよう

愛犬のグッド・エイジング・ライフのよきパートーナーとなってくれる動物病院。専門家の目で見守ってもらいましょう。

☑ 定期的に 健康診断 を受けよう

飼い主さんには健康に見えていても、いつの間にか病気が進行していることも。よりよく年齢を重ねるためにも、元気なうちから定期的に健康診断を受けることが大切です。「健康」が確認できれば何よりですし、定期的な受診こそが、病気の早期発見・早期治療を可能にします。

どれも大切! 健診 3 セット

下の３つはどれも大切な検査ですが、１つの検査だけでは不十分なことも。
年齢や状態に合わせて検査を組み合わせ、全身をチェックすることが大切です。

血液検査

肝臓や腎臓などの各臓器の機能や、脂質代謝異常や貧血の有無など、おおまかな全身の状態を知ることができます。

画像診断

レントゲン・超音波検査では、血液検査で検出できない肺や関節の状態、臓器の形状、腫瘤の有無などを確認できます。

尿検査

膀胱炎や尿石症の有無はもちろん、腎臓・肝臓の機能や糖尿病などの内分泌疾患を調べられます。

グッド・エイジングのために

おうち でケアしよう

よい老後は、日々の積み重ねがもたらします。継続がモノをいう、
些細なことのようで重要な「おうちケア」をご紹介します。

☑ 生活リズムを整えよう

「しつけ」が可能なことからもわかるように、犬は「決まりゴト」があったほうが安心する傾向があります。まずは愛犬と飼い主さんの両方に快適な生活リズムを見つけて、規則正しい生活を心掛けましょう。

Check!

食事の内容や時間、量は整ってる？

Check!

散歩の時間や頻度、運動量は整ってる？

☑ 体重管理をしよう

体重は健康の重要なバロメーターです。右ページで説明する通り、太り過ぎ、痩せ過ぎはもちろん、人からするとわずかな増減が病気のサインの場合も。抱っこして体重計にのったり、体重計にお座りさせたりするなどして、月に一度計測する習慣をつけましょう。

グッド・エイジングのために見逃したくない

3つの「未病」状態

「未病」とは、「健康」から「病気」へ向かっている状態のこと。
動物病院で調べたりおうちでケアすることで、
この状態を止めたり、再び健康へ向かわせたりできる場合もあります。
覚えておきたい3つの「未病」状態を紹介します。

— 1 —

酸化ストレス度が高い

体内で活性酸素が増え、細胞や組織が障害を受ける（＝サビつく）度合いが高いと、老化が進んだり、あらゆる病気にかかりやすくなったりします。抗酸化を意識したケアを取り入れてみても。

— 2 —

過剰に太っている・痩せている

過度の肥満は糖尿病や関節炎の悪化を引き起こしやすく、慢性腎臓病などの慢性疾患においては、痩せ過ぎると寿命が短くなる傾向があります。※

— 3 —

脂質代謝異常

高脂血症とも呼ばれる、血液中の脂質（コレステロールや中性脂肪）の数値が高い状態。すい炎や糖尿病・肝障害などさまざまな病気のリスク因子と考えられています。

※「Association between body condition and survival in dogs with acquired chronic kidney disease」J Vet Intern Med. 2011 Nov-Dec より

GOOD AGING LIFE FOR YOUR DOG

今日から始めよう！

グッド EneALA（エネアラ） ライフ

Supplement for pets　for Dogs & Cats

エネアラは、世界で初めて生命の根源物質・5-ALA（5－アミノレブリン酸）を配合した犬猫用サプリメント。体内で不足しがちな5-ALAを補うことで、健康維持をサポートします。

詳しくは当院へ
おたずねください。

カツオ風味で
美味しい!

開封が一目でわかるセキュリティーボトル

5ALA FUKUROI

製造者
KIYAN PHARMA 株式会社
東京都千代田区麹町6−2−6

販売者
物産アニマルヘルス株式会社
大阪市中央区本町２－５－７

3445AH CRE